

## 令和7年度 名取市食育推進会議

日 時:2026/01/30 15:00~16:00

場 所:保健センター 2階 会議室

出席者:今野委員、守屋委員、洞口委員、高橋委員、佐々木委員、板橋委員、山崎委員、相澤委員、  
横山委員、佐藤委員、菊地委員、熊谷委員、武田委員、

事務局:中山健康福祉部長、安部所長、加藤所長補佐、矢澤統括保健師、大内技術主査、庄司栄養士、  
横山栄養士、齋藤

作成者:栄養士 齋藤真愛

### 【委嘱状交付】

○加藤 所長補佐

本日は、お忙しい中、またお寒い中、会議に出席をいただき、ありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます保健センターの加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、令和7年度名取市食育推進会議の開催に先立ちまして、この度新たに委員となられた4名の方に委嘱状並びに任命辞令を交付させていただきます。任期は令和8年11月30日までとなります。代表受領とさせていただきます。名前をお呼びいたします。着座のままいたします。

2号委員 守屋 拓 様

3号委員 高橋 恵 様

4号委員 横山 勉 様、佐々木 賢一 様

それでは、代表 守屋拓様、前の方にお進みください。

(委嘱状交付)

なお、他の委員の皆様につきましては、あらかじめお手元に配付しておりますので、ご確認のほどお願いいたします。以上をもちまして、委嘱状ならびに任命辞令の交付を終了いたします。

それでは会議に入る前に、本日の会議資料の確認をお願いいたします。まず、お手元の方に配布している次第、委員名簿、資料1「名取市の健康の現状」、資料2「関係機関の食育の取組」、資料3「令和8年度食育の取組(保健センター)」、第4次食育推進計画、本会議の条例となります。不足している資料はございませんか。

### 【開 会】

○加藤 所長補佐

ただいまから令和7年度名取市食育推進会議を開催いたします。本日の会議は委員19名中12名の出席があり、本会議条例第6条第2項に規定する会議開催の要件を満たしております。また、この会議は「名取市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき、公開対象の会議となっておりますが、本日の傍聴者はありませんことをご報告いたします。はじめに、今野会長よりあいさつをお願いいたします。

○今野 会長

皆さん、こんにちは。今日は雪が寒い中ですがお集まりいただきありがとうございます。この前は年末かと思いましたが、もう年度末を迎える時期となりました。本日は今年度の取組の振り返りをしつつ、次

年度に向けた計画を皆様と共有していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○加藤 所長補佐

ありがとうございます。続きまして、次第の 2、議事に入りたいと思います。議事進行につきましては、今野会長にお願いしたいと存じます。議長席の方にご移動をお願いいたします。それではよろしくお願いいたします。

○今野 議長

皆様よろしくお願いいたします。では、議事の方に入らせていただきます。(1)名取市食育推進計画第 4 次、令和 7 年度実績報告について報告事項があるとのことですので、事務局より説明をお願いします。

【議事】

○大内 技術主査

名取市食育推進計画第 4 次の説明をさせていただきたいと思います。お手元にあります資料の表紙に名取食育推進計画(第 4 次)と書かれているホチキス留めの資料を出していただいてもよろしいでしょうか。昨年度の食育推進会議にて説明をしたところではございますが、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、改めてご説明をさせていただきたいと思います。

第 4 章、食育推進計画が表紙となっている資料の 60、61 ページを開いてご覧ください。前計画の評価となっておりますが、こちらは 5 つの基本目標に対しアンケート及び調査を行いました。計画については、「A 評価目標に達した」「D 評価悪化している」ものには、網掛けをしております。A 評価は 15 項目、D 評価については 15 項目となっております。

続いて 62 ページをご覧ください。食育推進計画の施策体系となっておりますが、前計画の評価を踏まえ、基本目標「一人ひとりが食を生きる上での基本としてとらえ、健全な食生活と心身の健康増進を目指す」とし、3 つの主要施策と、達成すべき 6 つの目標を掲げています。

続いて 63 ページになります。施策の展開としまして、関係団体や市民との協働により、計画を推進するとともに、食育の取組が効果的に推進されるよう、食育推進会議の開催や計画の進行管理、広報や SNS、アプリのプッシュ通知等を活用した情報発信を行っていきます。

続いて 64 ページをご覧ください。こちらには主要施策として、1.生活習慣病及び重症化予防に繋がる食育の推進、2.ライフステージや自身の生活に合わせた食育の推進、3.地域の食材や食文化への理解を深め、次世代への継承に繋がる食育の推進の 3 つを立てております。

この 3 つの主要施策を踏まえて、各事業を推進する他、6 つの食育の取り組みを掲げ、それぞれに目標を設定することで、着実な計画の推進を図ります。先ほど 6 つの取り組みとお話しましたが、こちらは先にご覧いただきました 62 ページにもあります、1.朝食を毎日摂る者の増加、2.バランスの良い食事をとる者の増加、3.野菜摂取量の増加、4.食塩摂取量の減少、5.家族と一緒に食べる「共食」の増加、6.地産地消の取り組みの増加としております。具体的な内容の現状と課題や目標対策については、65 ページから 73 ページまで記載させていただいております。

また、食育推進計画の数値目標をまとめたものがありますが、そちらについては、1 番最後の 109 ページに記載しておりますので、こちらをご確認をお願いいたします。今後の食育の展開に関しまして、事前にお渡ししておりました概要版等もご覧いただき、活用いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。食育推進計画(第 4 次)の説明については以上です。

○横山 栄養士

お手元の資料 1 のパワーポイントの資料になります。スライドにも掲示しておりますので見ながら聞いて

いただければと思います。私、横山の方から名取市の健康状況についてお伝えいたします。

初めに名取市の子どもの肥満の割合についてです。3歳6か月児健診では、男子が横ばい、女子が減少傾向でした。名取市食育推進計画では、肥満傾向の肥満度20%以上にある子どもの割合を、3歳6か月児は男子1.5%以下、女子3.5%以下と目標値に設定しておりますが、令和6年度は男子1.3%、女子0.6%と改善傾向でした。10歳児では、平成30年度以降、男女ともに増加していましたが、令和4年度以降、男女ともにやや減少傾向となっています。名取市食育推進計画では、小学校の10歳児では、男子11.5%以下、女子7%以下と目標値に設定しておりますが、令和7年度は男子13.2%、女子7.8%と改善傾向です。

次に成人の体格についてです。BMI25以上の割合は、令和5年度から令和6年度は、男女ともに増加していました。名取市食育推進計画では、肥満者BMI25以上の割合を男性28%以下、女性19%以下を目標値に設定しておりますが、令和7年度は男性40.3%、女性25.9%と増加しており男性は約2.5人に1人、女性は約4人に1人が該当しておりました。

次に、メタボ該当者及びメタボ予備軍の割合についてです。名取市食育推進計画では、メタボリックシンドロームの該当者の割合を男性33%以下、女性13%以下を目標値に設定しておりますが、令和6年度は男性37.9%、女性14.8%と増加しております。メタボ予備群は、県や国より低いですが、該当者は男女ともに県や国より高い割合となっていました。

次に健診項目で基準値を超えるものの割合についてです。オレンジは県や国よりも割合が高いもの、水色は県より割合が高いものに色がついています。特に男性は血压以外のすべての項目で、県、国の値を上回っていました。BMIや中性脂肪、HbA1cが基準値を超えるものの割合が高いことから、市民の摂取エネルギー、食べる量が過剰であることを示唆しております。

次に、本市の血压の状況についてです。40から74歳の国保の方で、高血圧を治療中である人の割合は23%でした。このうち、高血圧の方の約50%が糖尿病も該当しており、経年で見ても年々増加していることがわかりました。

次に、宮城県民の食塩摂取状況です。令和4年度県民健康栄養調査結果では、男性11.2g、女性9.7gと食塩の摂取量は減少傾向となっております。しかし、厚生労働省で定められている1日当たりの食塩摂取量は、男性7.5g、女性6.5g以下となっております。宮城県は、依然として目標量よりも3~4g多く塩分を摂取している状況となっており、名取市も県と同様に食塩摂取量は多いと考えられます。

ここからは、本市で取り組んでいる令和7年度の名取市食育推進計画第4次の実施状況についてご報告いたします。こちらが主な食育事業となっております。まず、離乳食セミナーです。離乳食後期の10か月児を対象として実施しております。2種類の硬さのお粥と野菜スープの試食やグループワークも交えながら、離乳食についての悩みの共有や食材の硬さや大きさが合っているかなど、保護者と確認する機会となりました。

次に、幼児健診での肥満児指導についてです。こちらは幼児健診で肥満児の出現についてまとめた表ですが、令和7年度の結果は、1月7日時点で集計した結果で記載しております。星印の健診全体をご覧ください。令和7年度、肥満度15%以上の児の割合は、受診者のうち68人で5.6%が肥満となっております。そのうち、95.6%が健診時の個別栄養指導に繋がっております。

健診後の肥満状況については、1月時点で約6割の改善が見られました。支援方法は、健診の3ヶ月後に、保護者や児の所属先に電話連絡を行い、双方と情報共有をしながら、児の食生活、発育状況を確認しています。肥満児の特徴としては、例年と同様に、おやつを食べ過ぎや生活リズムの乱れ、偏食等が多いようでした。肥満児の健診後のフォローの場として、キッズの食事サポート相談会を経年で実施しています。令和7年度から2次元コードでの予約を開始したところ、昨年度よりも参加者の増加が見られました。次年度から5歳児健診が始まるため、対象年齢を6歳未満に引き上げて、より力を入れて実施していきたい

と考えております。

続いて出張ベジキッズセミナーです。5歳児には、野菜クイズをはじめ食材カードを1から4群の4つのグループに分け、その食材の働きについて体験しながら学習する内容としました。保護者に対しては、お便りという形で、児の発育食品と目安量について資料を作成して配布しました。

ここまでが、保健センターでの食育事業の取り組みについての報告となります。

#### ○庄司 栄養士

ここからは保健センターの庄司から、チャレンジなとり減塩ベジ活350について、ご紹介いたします。

本市では、減塩と野菜摂取に関する取り組みをあわせて行うことで、さらなる健康増進の効果を期待し、チャレンジなとり減塩ベジ活350事業に取り組んでおります。今年度の事業の取り組みについてご紹介させていただきます。

名取市では、特に若い世代から減塩することへの重要性を伝えるため、母子健康手帳交付の際に、減塩醤油の配布、乳幼児健診やイベントでは、減塩パンフレットの配布などを行っております。

次に、名取市減塩推進協力店事業についてです。減塩推進協力店とは、減塩野菜摂取の普及啓発や減塩食品を購入しやすい食環境整備の取り組みとして、市内スーパーや飲食店様のご協力のもと、実施しております。今年度は新たにウジエスーパーさんと市内ファミリーマート10店舗が認定され、現在31店舗の飲食店スーパーにご協力をいただいております。

次に、減塩野菜摂取の普及啓発イベントについてです。減塩推進協力店のご協力のもと、来店した市民の方を対象として、ベジメーターでの野菜摂取量の計測や減塩食品の試食、減塩レシピの配布などを行っており、今年度は8回実施をしております。

今年度から新たに、いざよひ産直マーケットでもイベントを実施しております。産直ネットワーク様、明治安田生命様、農林水産課の方々のご協力のもと、来庁者や買い物に来た市民を対象に、ベジメーターの測定などを行い、野菜が不足していた方にはその場で野菜摂取を促したり、野菜と減塩調味料を使用したレシピを配布したところ、早速自宅でも作ってみますと声をいただいたりしています。

次に、献血コラボイベントについてです。こちらも今年度から新たに献血と、減塩野菜摂取のコラボイベントとして実施しております。本庁1階で年4回実施する予定で、現時点で143名の方にご協力をいただいております。献血の待ち時間や採血中の時間を利用して、献血者へのポスターの掲示やチラシの配布を行うことで、多くの方々にも減塩や野菜摂取の必要性について知っていただくことができました。

その他、イオンモール名取で開催された歯と口と健康のひろばやふるさと名取秋まつりにも食育コーナーを設けまして、ベジメーターの測定や野菜計測、減塩笹かまぼこの試食、幼児向け野菜の食育コーナーの体験型イベントなどを実施しております。また、減塩食品やポスターの展示なども行い、野菜摂取や減塩の必要性について広く周知する機会となっております。

次に、食生活改善普及運動の実施についてです。こちらは厚生労働省で定められている9月1日から30日までの食生活改善普及運動月間の期間中に、減塩推進協力店の店舗に、名取市の減塩-2gPOPを店頭に掲示していただいております。

続いてはスマートミール認証についてです。スマートミールとは、1食の中で主食主菜副菜がそろい、野菜がたっぷり、塩分にも配慮した栄養バランスのとれた食事のことを示します。名取市内では、現在2店舗が認証されております。

次に、減塩ミニ学習会についてです。こちらは令和6年度の特健康診査で、I度高血圧以上かつ減塩の必要性がある方を対象に、高血圧のメカニズムや減塩に関する学習会を、年3回実施しております。学習会の中では、今年度から、尿ナトリウム比測定やベジメーターの測定も実施しました。

尿ナトリウム比とは、尿中のナトリウムとカリウムの比のことを言います。摂取したナトリウムの約9割とカリウムの約7割から8割は、尿中に排出されるため、食事から摂取した塩分と野菜の比を客観的に評価する

ことができるものになります。食塩の取り過ぎと野菜に含まれるカリウムの摂取不足は、血圧を高めるというところから、尿ナトリウム比が高い人ほど、高血圧の人の割合が多いことが、研究からもわかっております。実際に宮城県では、登米市の方で特定健診の会場で3年間に渡って、こちらの尿ナトリウム比の測定をした結果、男女ともに尿ナトリウム比と収縮期血圧が年々下がっていったという結果も出ているそうです。

名取市では成人の1日の野菜摂取不足や1日の塩分摂取目標量が多い方などが課題として見受けられましたので、減塩ミニ学習会では、その一環として、尿中ナトリウム比の測定とベジメーターの測定をあわせて実施いたしました。参加者の尿中ナトリウム比の測定結果は、ほとんどが実現可能目標である4未満の方が多くいらっしゃいまして、ただ野菜摂取量は350g以上摂取している人が半数ぐらいの結果というものになっておりました。測定を行うことで、自分自身の塩分、野菜摂取の状況が明確化になり、減塩や野菜摂取の意識が高まっていったように感じております。

減塩ミニ学習会の参加後の様子についてです。こちらは令和6年度、減塩ミニ学習会に参加した方の、今年度の健康診断の血圧の結果を比較すると、24人中17人が、血圧の改善が見られております。学習会では、前日の食事記録表の振り返りや、尿中塩分測定の記録から、加工食品や麺類、漬物などで、塩分を取りすぎていたと感じ、食生活を見直すきっかけになっていたのではないかと感じております。学習会やイベントなどの他、市民がいつでも血圧が測定できるようにと、市役所や体育館、保健センターへ血圧計を設置した他、本事業の取り組みやイベントについてのお知らせなど、広報、SNSなどを活用して、減塩や野菜摂取の周知も様々行っております。

今後の取組としましては、市民の皆様が減塩と野菜摂取に繋がっていくよう、学校や他の機関と連携し、食育事業を推進していく予定となっております。

以上がチャレンジなとり減塩ベジ活350事業についてのご報告になります。

#### ○今野 議長

ただいま事務局より説明がありましたが、今の説明について何か委員の皆様から質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは配布資料の中に、資料2が配布されているかと思いますが、委員の皆様から令和7年度の食育の取組について情報提供をいただいております。こちらの資料に基づいて、何名かの委員の皆様からご報告をいただきたいと思っております。1~2分程度でお願いできればと思っております。

まず私の方から尚絅学院大学の令和7年度の取組について、報告させていただきたいと思っております。資料をご覧ください。

まず一番上の「健康・スポーツ講座」につきましては大学の地域連携センターで主催していきまして、実は2月14日から実施するものです。2部構成で第1部が栄養について知ろう、2部が運動について知ろうということで、地域住民も、子どもから高齢者まで広く対象にした講座をこれから実施する予定になっております。

それから「アキウ・ヒト・ツーリズム」プロジェクトについては仙台市太白区の秋保地区で、学生が様々な体験や活動をしているプロジェクトで、もう3年ぐらい続いているプロジェクトになります。その中で、食育に関する取り組みをしています。秋保地区では、学生が農業体験あるいは農園やワイナリーの見学等もさせていただいて様々なことを学んでいるようです。

それから、本学の図書館が主催している連続セミナーの中で、食育に関するものとして「いのちの栄養」食事を楽しむことについてというセミナーを学生や教職員、地域住民向けに行いましたという内容になっています。

この他にも、おそらくある様々な取り組みがあるかと思いますが私が把握できたものを、記載させていただきました。私の方からは以上です。

それでは他の委員の方からも、ご報告をいただきたいと思います。佐々木委員よろしくお願ひします。

#### ○佐々木 委員

宮城県農業高等学校の栄養教諭の佐々木と申します。私の方から資料に沿って、今年度の活動についてご説明させていただきます。

今年度、栄養士 2 名配置だったところが 1 名減になりまして、食育にかける時間が少なくなりましたところではありましたが、その中で実践したことについてです。義務入寮生といって年間を通して、1 年生が必ず 3 週間入寮しなきゃいけないという期間があり、その時に入寮生を対象に、高校生時期の、身体の特徴や必要な栄養素とか食事の朝食の大切さなどについて食育の事業を行っていました。例えば、家庭科との連携事業との連携の中で、3 年生が課題研究に取り組んでおり、その中で、減塩とか壮年期の食事とか、それぞれテーマを持って献立を作成し、その献立作成のアドバイスや出来上がった献立を寮の食事として実際に提供したりする活動もしていました。寮生からは、食事のレシピが欲しいという声が多くありますので、卒業する生徒へ向けてレシピの提供なども行っています。

それから年間を通して、寮の花壇を使って野菜づくりをしていますので、それを給食に活用したり、農業高校の特性を生かして事業の中で育てた野菜や果物、米、卵など農産物がたくさんありますので、そちらは年間を通して給食に多く使っています。今年度は、生徒が育ててきた牛、和牛を 3 年生の卒業の送る会で提供することになっています。

あとは個別的な相談指導として、スポーツ栄養と肥満指導、食物アレルギーなどここに挙げさせていただきましたが、中でもスポーツ栄養に関する相談は生徒から多く、相談されています。部活動熱心に取り組んでいる生徒から、もっと体を鍛えたいとか、強くなるためにどんな食事をとった方がいいのかという相談がありまして、そういう生徒には 1 年を通して、1 週間に 1 回とか 10 日に 1 回とか寮の方に来てもらって、食事指導、体重を測ったり、体脂肪を測ったりしながら、経過を観察しながら指導しているところです。以上になります。

#### ○今野 議長

ありがとうございました。それでは続いて山崎委員の方から報告をお願いします。

#### ○山崎 委員

名取が丘保育所の栄養士の山崎と申します。令和 7 年度の食育の取り組みをご紹介します。

5 歳児に向けて年間 10 回、マナー講話や、クッキングを実施してピザづくりや煮干だしを使った味噌汁作りなどを実施しました。4 歳児に向けてマナーの講話、未満児さんの 2 歳児さんに向けて、野菜の体験、スプーンの持ち方、箸の持ち方も、最近食育講話で実施しました。

保育所で育てた野菜があり、それを給食に使わせていただいて、あと、秋には焼き芋会も開催させていただきました。

あと絵本とのコラボや地元の食材の給食提供、毎月 19 日にはおにぎりの日も実施させていただいています。またその他に親子クッキングですとか、講話も実施しました。

あと給食を通して、減塩にも取り組んでいます。今年度は味噌汁の味噌を昨年度よりも少なくして、毎日塩分計で測定しながら、提供して、一定の味つけにさせていただいております。以上です。

#### ○今野 議長

ありがとうございました。それでは最後に横山委員、お願いしてもよろしいでしょうか。

○横山 委員

名取市教育委員会学校教育課の横山といいます。学校教育課の方では3点です。

1つ目が給食センター栄養士を小学校に派遣し、食育に関する事業を実施しております。テーマについては記載の通りの内容のことをやっております。

2つ目が、地産地消の取組として、学校給食に地場産品を使用しているということで、12月末現在そのような品目を使っておりまして、児童生徒に配布する献立表の方にも、地場産品がわかるようにということで工夫をしています。

3つ目に、各学校で給食の残食量調査を行っています。以上3点になります。

○今野 議長

皆様ありがとうございました。

それでは続きまして協議事項の方になります名取市食育推進計画(第4次)、令和8年度の保健センターでの食育の取組について事務局よりお願いします。

○大内 技術主査

それでは、資料3をご準備ください。令和8年度の食育の取組について保健センターの項目についてご説明をさせていただきたいと思っております。

1つ目、生活習慣病予防及び重症化予防に繋がる食育の推進のところになりますが、主に母子健康手帳交付時や乳幼児健診、総合健診時などに市の課題、健康課題を踏まえた健康教育や栄養指導を進めていく予定になっております。

2つ目のライフステージや自身の生活の変化に合わせた食育の推進では、主に離乳食セミナーやキッズの食事サポート相談会を実施し、個人の相談内容に合わせた食育を行っています。

3つ目、地域の食材や食文化への理解を深め、次世代への継承に繋がる食育の推進では、出張ベジキッズセミナーを実施し、幼稚園に出向き、園児に対して野菜に関する講話や野菜に触れるための体験ワーク、保護者向けには資料を家庭に持ち帰っていただくように準備しております。

チャレンジなとり減塩ベジ活350では、減塩推進協力店の募集だけではなく、引き続き減塩ミニ学習会の実施を考えております。

令和7年度に新たに実施しました、産直ネットワークなとり様と連携し、お越しいただいた方には、チラシの配布や減塩調味料の試供の配布、ベジメータ体験を行いました。献血事業では、会場に減塩や野菜摂取に関するポスターの掲示や、献血の記念品をあわせてチラシの配布を行いました。先ほども説明があったところではありますが、こちらの内容については継続して行う予定です。

新たに令和8年度からの取り組みとしましては、網掛けになっているところをご覧いただければと思いますが、学校と連携したバランスのとれた食事の普及啓発事業、図書館での減塩と野菜摂取等に関する展示となっております。こちらは尚絅学院大学様と連携をさせていただき、学生さんと一緒にバランスのとれた食事であるスマートミールの普及啓発に関する事業の展開や、食を通じた健康づくりについて共有させていただきたいと思っております。

また、図書館での事業に関しましては、一部のスペースをお借りし、来館者に減塩と野菜に摂取について知っていただくような展示等を考えております。

その他としまして、食育推進会議、食育研修会、栄養士学習会である食育スキルアップセミナー等を継続して実施していく予定になります。保健センターの食育の取り組みについては以上になります。

○今野 議長

ありがとうございました。ただいまの保健センターの取組について何かご質問はありますでしょうか。よろ

しいでしょうか。

それでは、ただいま保健センターの食育の取組について説明していただきましたが、また資料 2 に基づいて、また何名かの委員に来年度の食育の取組についてご紹介をお願いできればと思います。それでは守屋委員の方からお願いできますでしょうか。

#### ○守屋 委員

仙台農業協同組合の守屋と申します。仙台農協におきましては、主に営農部の活動になりますが、令和 7 年度に引き続き令和 8 年度においても、小学校での実習で稲作体験を続けて参ります。

その他といたしまして名取市の伝統野菜のせりの体験学習ということで、こちらの方は生産者のところに行きまして実際のせりの収穫、洗って枯れ葉を取った後、束ねるというような一連の流れを令和 7 年度も予定はしていましたが、学校の都合でできなかったものの、令和 8 年度以降も続けてそちらの方を行うことによって次世代への継承に繋がる食育の推進等の活動を行って参りたいと思っております。

#### ○今野 議長

ありがとうございました。それでは続きまして高橋委員の方からもご紹介いただけますでしょうか。

#### ○高橋 委員

仙台保健福祉事務所の高橋と申します。当社では、大人こそベジプラスチャレンジということで、ここ 3~4 年続けている取組みではありますが、来年度も管内事業所に勤める働き世代を対象として、事業所内 3 人 1 組でチームを作っていただいて、1 日 1 回野菜を食べるとか、あとは毎食野菜を食べるなど、それぞれチームで目標を設定していただきまして、1 ヶ月などの一定期間、目標達成を目指して取り組んでいただくこととしております。その他、食育月間ではフードモデルの展示などを行っていく予定としております。

また名取市さんの取組みと少し似ているものにはなりますが、食環境の整備ということで、ベジプラス 100&塩 eco で、地域の食環境整えていこうということで、野菜たっぷり塩控え目の栄養バランスのとれたベジプラスメニューというものを提供するお店や、提供は難しくても情報発信にご協力いただけるような飲食店、スーパーを募集しておりまして来年度もこちら協力店を探して、取り組んでいきたいと考えております。

#### ○今野 議長

ありがとうございました。それでは次には、板橋委員の方からご紹介をお願いします。

#### ○板橋 委員

ゆりが丘保育所の板橋と申します。名取市の公立 3 保育所において、それぞれ各保育所に栄養士がおりまして、その栄養士が作成した年間の食育計画というものをもとにして、継続的に食育指導活動を行っているところです。具体的な取組みとしましては、令和 7 年度の取組状況という右欄に書いたものを、令和 8 年度も継続的に行う予定です。

この中で、特に 2~3 年ぐらい前から始めました、絵本とおやつのコラボがとても好評で小さい子どもたち向けの食育活動ってということで、見た目にもかわいらしく、食べるのがもったいないような、そんなかわいいおやつを出していただいて、子供たちにも好評ですし、それを保護者の方にも写真で掲示したり、ICT で配信してお知らせしたりということで、保護者への啓蒙活動も加えて行っているところです。以上になります。

#### ○今野 議長

ありがとうございました。続きまして菊地委員の方からご紹介お願いできますでしょうか。

○菊地 委員

増田小学校の養護教諭の菊地と申します。全学年を通して、何か野菜を作るというものがあまして、総合学習と生活科において取り組んでおります。1年生はオクラの栽培、2年生は枝豆とトマト、3年生はオクラとピーマン、校庭の片隅で1人1個のプランターに作っています。

来年度も同じように栽培活動を行っていく予定です。5年生につきましては、地域の方にも協力いただきまして、田植えと稲刈りを行って古代米を作成して栽培し、販売しております。来年度も取り組みます。それから先ほどありました、せり農家の方とも交流がありまして、3年生の方でお世話になっているところです。

○今野 議長

ありがとうございました。それで最後に熊谷委員の方からお願いいたします。

○熊谷 委員

地域活動栄養士の熊谷といいます。令和7年度に参加したものとほぼ同様の活動内容になると思いますが、保健センター事業の出張ベジキッズセミナー、こちらの方は先ほども説明がありましたが、幼稚園の方へ出向いて、食材を1~4群に分けてお話しや5歳児へ向けて野菜の絵カードクイズなどを実施する予定です。

名取市図書館やここいるを会場とした栄養相談ですが、こちらの方は主に離乳食への悩みを抱えている保護者の方へ、食事をする際の環境の整え方や食育の考え方、お子さんが食べやすい、実際に作っていただけるようなレシピを提案させていただく予定になっております。

○今野 議長

ありがとうございました。皆様本当にありがとうございました。次年度も保健センターはもちろんのこと、各所属先そしてお互い連携しながら、食育の推進を図っていければと思います。それでは以上をもちまして議事を終了いたします。事務局の方にお返しします。

【その他】

○加藤 所長補佐

議事進行ありがとうございました。最後に次第の3、その他になりますが、事務局では特にご用意方はしておりませんが、委員の皆様から何かございましたらお伺いしたいと思います。

○武田 委員

先ほどの関係機関の食育の取組についての質問です。一般公募の武田と申します。よろしくお願いいたします。

専門的で大変恐縮ですが、名取が丘保育所で山崎委員が組んでいらっしゃる食育を興味深く聞かせていただきました。忙しい中で日々、頑張っているなど尊敬させていただいております。

やはり子ども、幼児からの味覚ってとても大事だと思っていて、ここで減塩の味噌汁を提供するっていうことで、塩分測定器もご使用されているとのことですが、何%にされているのか。あとは薄味にしたときの子供たちの反応についてですが、「おいしい」「薄い」など食べている反応のところも差し支えなければ聞きできればなと思いました。よろしくお願いいたします。

○山崎 委員

現在、大体0.7~0.8%ぐらいで調整させていただいています。少し高めとは思いつつ、この味付けだとおいしく食べてくれるかなというところです。保育所としては本当だともう少し低い塩分濃度で提供できればと考えていたところでした。

○武田 委員

病院でも0.8%ぐらいでは設定しますが、1番は0.6%ぐらいが美味しいと思えればと。これは最終目標です。しかし、まずは美味しく食べるということがポイントでもありますね。ありがとうございます。

○加藤 所長補佐

他に何かございますか。

それではないようですので、閉会の挨拶を洞口副会長よりお願いしたいと思います。

○洞口 副会長

今日は、会議がスムーズに進行できましたことを感謝申し上げます。名取市食育推進計画第4次が、昨年度からスタートしております。全計画を踏まえた新たな食育の取り組みが行われています。

各委員の皆様も、市民の健康保持維持のために、食育推進に取り組んでいただければと思いますので、令和8年度もよろしくお願ひしたいと思います。本日はお疲れ様でした。

○加藤 所長補佐

以上をもちまして、令和7年度名取市食育推進会議を閉会いたします。

本日はありがとうございました。